

令和3年度事務事業評価表(令和2年度振り返り)

事務事業名	050201 地域間交流事業		新規/継続
政策名	02 にぎわいと活力あふれるまち		継続
施策名	05 地域力向上への支援		
基本事業名	02 地域間交流の推進		
所管課係名	生活文化課 市民協働係	所管課長名	木村 大輔

事業の概要

根拠法令等	<input checked="" type="checkbox"/> 自主的(条例・規則等) <input type="checkbox"/> 義務的(法律・政令等) <input type="checkbox"/> 努力義務的(法律・政令等) <input type="checkbox"/> 終期		
補助事業	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 行政補完的 <input checked="" type="checkbox"/> 政策的	給付事業	<input type="checkbox"/> 該当
市独自上乗せ	<input type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 上乗せ <input type="checkbox"/> 横出し		
特定財源	<input type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 廃止予定の有無 <input type="checkbox"/> 該当		
事業形態	<input type="checkbox"/> 直営(委託無) <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金		
近隣市状況	<input checked="" type="checkbox"/> 小平市 <input checked="" type="checkbox"/> 東村山市 <input checked="" type="checkbox"/> 清瀬市 <input checked="" type="checkbox"/> 西東京市		
その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行プラン <input type="checkbox"/> 対象 <input type="checkbox"/> 外部評価 <input type="checkbox"/> 対象	<input type="checkbox"/> 内部管理事業等	<input type="checkbox"/> 該当

事務事業の目的(事務事業の対象、手段、意図)

対象	市民
事業内容・活動手段	高崎市榛名地域と協定に基づく地域間交流事業を実施。 ジャンボ梨コンテストでの市長賞授与や、市民みんなのまつりでの出店など、交流を実施
目的・意図	榛名地域を第2のふるさととして交流してもらう

活動指標(手段の数値指標化)

指標名	交流事業の回数	単位	回
実績値	平成30年度	平成31年度	令和2年度
	6	6	1

成果指標(意図したことの結果の数値指標化)

指標名	施策成果アンケート調査結果「榛名に行ったことがある・関心がある」の合計	単位	%
指標の種類	増加を目指す指標	現年度目標値	65
目標値	平成30年度	平成31年度	令和2年度
	65	65	65
実績値	65	未把握	61

事業費・人件費等

		平成30年度	平成31年度	令和2年度
事業費(実績額)①(千円)		160	187	5
上記「事業費(実績額)」に係る財源	特定財源	国	0	0
		都	0	0
		その他	0	0
	一般財源	特定財源に伴う一般財源	0	0
		160	187	5
人件費(理論値)②(千円)		1,329	1,402	286
トータルコスト①+②(千円)		1,489	1,589	291
単位当たりコスト(円)		248,167	264,833	291,000
目標達成率(%)		100	-	94

評価

業務フローに改善の余地がある	<input type="checkbox"/>	制度改正の余地がある	<input type="checkbox"/>	令和4年度の方向性	現状維持
説明				総合評価(課題・方向性)	
地域間交流事業の業務フローは十分精査されており、改善の余地はない。				平成28年度からの3年間で榛名地域の認知度は増加していた(平成31年度は施策成果アンケート未実施のため未把握)。小学校の移動教室が榛名地域で行われていることにより、東久留米市での榛名地域の知名度が上がっているものと考えられる。移動教室が中止となり、交流事業もほとんど開催されなかった影響が今後生じる見込みが高い。当面は新型コロナウイルス感染症の影響は受けることになるが、工夫をして交流事業を継続していきたい。	
効率性	3	達成度	3		
説明					
交流事業の事務経費については毎年精査しており、これ以上の削減は見込めない。					

令和3年度事務事業評価表(令和2年度振り返り)

事務事業名	050202 地域間交流宿泊施設利用助成事業			新規/継続
				継続
政策名	02 にぎわいと活力あふれるまち			
施策名	05 地域力向上への支援			
基本事業名	02 地域間交流の推進			
所管課係名	生活文化課 市民協働係	所管課長名	木村 大輔	

事業の概要

根拠法令等	<input checked="" type="checkbox"/> 自主的(条例・規則等) <input type="checkbox"/> 義務的(法律・政令等) <input type="checkbox"/> 努力義務的(法律・政令等) <input type="checkbox"/> 終期		
	(市) 地域間交流宿泊施設利用助成金交付要綱		
補助事業	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 行政補完的 <input checked="" type="checkbox"/> 政策的	給付事業	<input type="checkbox"/> 該当
市独自上乗せ	<input type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 上乗せ <input type="checkbox"/> 横出し		
特定財源	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止予定の有無 <input type="checkbox"/> 該当		
事業形態	<input type="checkbox"/> 直営(委託無) <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金		
近隣市状況	<input checked="" type="checkbox"/> 小平市 <input checked="" type="checkbox"/> 東村山市 <input checked="" type="checkbox"/> 清瀬市 <input checked="" type="checkbox"/> 西東京市		
その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行プラン <input type="checkbox"/> 対象 <input type="checkbox"/> 外部評価 <input type="checkbox"/> 対象	<input type="checkbox"/> 内部管理事業等	<input type="checkbox"/> 該当

事務事業の目的(事務事業の対象、手段、意図)

対象	市民
事業内容 ・ 活動手段	高崎市榛名地域の宿泊施設と協定を結び、市民の宿泊費の一部を助成する
目的 ・ 意図	榛名地域を第2のふるさととして交流してもらう

活動指標(手段の数値指標化)

指標名	助成券発行枚数	単位	枚
実績値	平成30年度	平成31年度	令和2年度
	138	92	35

成果指標(意図したことの結果の数値指標化)

指標名	榛名地域の宿泊施設利用助成制度の認知度	単位	%
指標の種類	増加を目指す指標	現年度目標値	55
目標値	平成30年度	平成31年度	令和2年度
	55	55	55
実績値	47	未把握	44

事業費・人件費等

		平成30年度	平成31年度	令和2年度
事業費(実績額)①(千円)		138	73	27
上記「事業費(実績額)」に係る財源	特定財源	国	0	0
		都	0	0
		その他	0	0
	一般財源	特定財源に伴う一般財源	0	0
		138	73	27
人件費(理論値)②(千円)		886	934	381
トータルコスト①+②(千円)		1,024	1,007	408
単位当たりコスト(円)		7,420	10,946	11,657
目標達成率(%)		85	-	80

評価

業務フローに改善の余地がある	<input type="checkbox"/>	制度改正の余地がある	<input type="checkbox"/>	令和4年度の方向性	現状維持
説明				総合評価(課題・方向性)	
榛名地域の宿泊施設との連携も滞りなく行っていることから、業務フローに改善の余地はない。同様に制度改正の余地もないと考える。				令和3年度も変わらず外出の自粛が求められていることから、積極的な周知については再開時期を慎重に見極める。本制度の維持継続に努める。	
効率性	3	達成度	2		
説明					
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、外出自粛の影響により本制度の利用件数の減少につながった。新型コロナウイルス感染症の収束後に助成制度の積極的な周知を再開したいと考えている。					